

日本一のもも作りと高収益性・経営安定を

総社もも生産組合（総社市門田70-1）

TEL：0866-93-3770 / URL：https://www.facebook.com/soujamomo/

◀ 岡山の魅力発信 ▶

facebookはこちら ▶



経営概要

組合員数	13名（平均年齢43歳）
栽培面積	栽培面積：21ヘクタール
栽培品種	極早生から極晩生まで約40種類のももを栽培
取組の経緯	昭和43年、「日本一のもも作りと高収益・経営安定」を目的に組織。生産技術向上と安定生産に力を注ぎ、ももの栽培に取り組む。 平成20年頃から東南アジアを中心に輸出を開始。



取組内容

栽培方法	ももの樹が持つ力を最大限引き出す「岡山自然流もも栽培」で高品質なももを生産。これは、ももの基部まで日光が十分当たるよう樹間を広く植え、短果枝中心の樹となるよう剪定は最小限にした栽培方法。 肥料を少なくし、樹が持つ力を最大限引き出せるよう自然な樹体作りを行っている。また、ももの糖度を上げるために、樹上で熟させてから収穫。 極早生から極晩生まで幅広い品種を栽培することで、長期間出荷を実現。 生産技術向上のため、組合員での勉強会や先進地への視察を実施。
------	--

出荷・販売	出荷は、袋むき・選果・箱詰め・梱包まで一貫して選果場で行う完全共選。消費者目線で徹底した選果作業を実践することで高品位均一化を図り、圧倒的なクレーム率の低さを実現。 生産者は、選果場に正品から加工品まで全て出荷するため、廃棄率は2パーセント以下。 食味には徹底的にこだわり、多くのももの食味検査と査定会を実施して出荷。 J A 晴れの国岡山と連携し、平成20年頃から大田市場や大阪市場の仲卸を通して、台湾・香港・シンガポール等へ様々な品種のももを輸出。
-------	---

新規就農者の受け入れ	独自の取組として、新規就農研修を開始する1年以上前から、休日を利用した農業体験に加え、家族に地域の習わしや住民との交流を体験してもらうことで、確実なマッチングを行っている。 果樹の特性として収入を得るまでに時間がかかることから、移住後の営農計画や生活資金について念入りに情報提供することで、冷静に検討できる期間を設けている。 また、総社市との協力による地域の案内及び住居探しを実施している。
------------	---



今後の展望

耕作放棄地の解消を進めるとともに、新規就農者の定住促進を図っていききたい。
栽培技術においても、更なる研究・開発を進めていききたい。



出荷用の箱に詰められたもも



一つ一つ丁寧に袋掛けされたもも